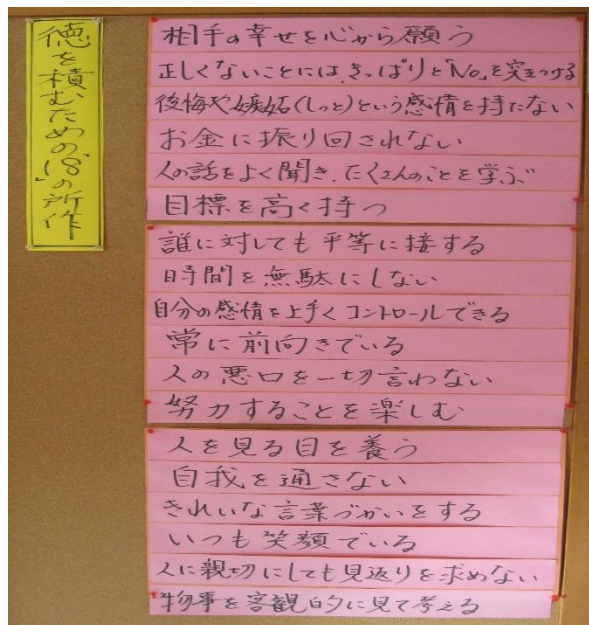


3月15日の卒業式では、68名の生徒が巣立って行きましたが、4月7日の入学式において新入生45名を迎え、令和4年度を全校生徒163名でスタートしています。物腰の柔らかい、明るく楽しい子どもたちに、心癒される日々です。

学校だより「百合樹 (ユリノキ)」も発行を重ね、137号となります。ユリノキは、葉の形から「半纏木」(ハンテンボク)、花の形から「チューリップの樹」とも言われ、昭和27年ごろに玄関前に植樹されたとのこと。約69年間の長きにわたり、春夏秋冬、朝から夕まで、井波中学生の活動を見守ってくれています。本当にありがたいです。

さて、今年度本校は、自分で自分を教育するという自覚をもち、学問の研究や人格の向上を行う「自己教育力」を育むことを重点目標とし、目指す生徒像を6つ描きました。

- ◆進んで学び、授業を大切にする。
- ◆品位ある立ち振る舞いができ、徳を積む。
- ◆困難や逆境に粘り強く立ち向かい、柔軟に対応する。
- ◆時事に対する関心を深め、創意工夫を楽しむ。
- ◆見通しをもち、自己評価力を高める
- ◆ふるさと「いなみ」を誇りに思う



この姿の実現に向け、すべての教育活動で、

道徳性の高まりを意識することとしました。私も「努力することを楽しむ」など、心がけたいことを『徳を積むための18の所作』として手書き(上記写真)し、校長室入口横に掲示しています。現在のパナソニックを創業した松下幸之助氏の言葉に『人間として一番尊いものは徳である』があります。コロナ下では不確実性も高まり、柔軟な対応や正しい判断がより重みを増す中、道徳性の高揚を図ることは絆を深めつつ、学力の向上や「よりよく生きること」に繋がると信ずるところです。



大きな窓から太陽光がたっぷり入る明るい教室、木々を存分に

用いた井波の温もりを感じる素敵な校舎で生活できることに感謝すると共に、「ユリノキ」創刊当時の学校関係者のご尽力に思いを馳せながら、日本でも有数の「道德性が高い学校」を目指し、教職員一同日々邁進してまいります。

地域の皆様方の温かいご理解・ご支援を何卒よろしくお願いいたします。